

1. 調査研究のテーマ、概要

調査研究のテーマ	小中一貫教育を通して「多様性を理解し尊重する力」を身につけ、人権意識を高める児童生徒の育成
----------	---

○調査研究のテーマを設定した目的

山形県では現在、第6次山形県教育振興計画（後期計画）を展開しており、その根幹として「いのちの教育」に取り組んでいる。本県の「いのちの教育」では、「いのち」を、「生命」と「人間としての生き方」としてとらえ、「自分の生命（存在）はかけがえのない大切なものだ」という自尊感情を高め、「他の生命（存在）も、自分と同じように大切だ」と思える心情や生き方、それらを次世代につないでいこうとする意識を育むことをめざしている。

また、子供の人権に関わって、本県のいじめ問題に対する取組みは、積極的な認知が広まり、早期発見早期対応が進んでいる。しかしながら、インターネット利用によるトラブルは増加傾向である等、いじめがおこらない風土づくりの重要性も高まっている。このような課題に対して、道徳科の授業を中心に、思いやりの心や規範意識等の醸成を進めているが、その内容をより継続的に指導していくことや、個に応じた指導や支援をしていくことが必要である。

さらに、平成28年3月に策定した「山形県人権教育推進方針」に基づき、小学校と中学校における一貫した継続的な取組を強化しながら、学校の教育活動全体を通じて、人権教育の理念である「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」につながる教育の実現をめざしていくことも求められている。

「いのちの教育」の推進や、いじめの問題や人権に関する課題を解消していくためには、子供たち一人ひとりが、自他共に認めあい、思いやりの気持ちを持つことが肝要である。このことを「多様性」としてとらえ、「多様性を理解し尊重する力」を育成していきたい。

そのためには、小中学校段階に当たる9年間という大きなくりで、子供たちの発達段階に合わせ、かつ系統的に人権意識を高めていく必要がある。酒田市立東部中学校学区では、東部学区小中一貫教育グランドデザインのもと、小中一貫教育推進事業の取組みが進んでいる。そのシステムや組織体制、環境をベースにして、小学校から継続した人権教育の実践を積み上げていくことで、子供たちの「多様性を理解し尊重する力」を育成していきたい。その上で、「子供」「インターネットによる人権侵害」「外国人」「性的指向、性自認」等の人権課題について、全教育活動を通じた取組みや働きかけを行うことが

有効であると考え、本研究のテーマを設定した。

○調査研究の概要

「東部学区小中一貫教育推進事業」において、①一人一人のニーズに応じた指導・支援の充実②仲間の良さを見つけ、認め合える力の育成、③地域の教育力や関わりを生かしたキャリア教育・総合の充実、を取組みの3つの柱としている。全教育活動で人権課題の理解につながる取組みや理解したことを実践する場の設定を行い、人権教育を充実させるとともに、具体的な評価指標をもとに児童生徒や教職員、地域への調査等を行い、児童生徒の変容と取組みの効果を検証する。

2. 基本情報

研究指定校の概要

○学校名

酒田市立東部中学校

○これまでの研究指定等の状況

※国からの人権教育研究指定はなし

○学級数

12学級（うち特別支援学級：3学級）

○児童生徒数(R4.5.1)

全児童生徒数：220人

○URL

<http://www.sakata.ed.jp/tobu/web/>

○指定理由

本県では、「山形県人権教育推進方針」に基づき、子供の自主性や主体性を重視しながら望ましい人間関係づくりを進めるとともに、すべての子供が安全で安心して生活できる環境づくりを進めており、人権教育の充実に関する小学校、中学校それぞれの実践も行われている。一方、各地区で小中一貫教育が進められているものの、人権教育をとおして小中学校が連携した取組みの実践が少ないことが課題として挙げられる。

酒田市立東部中学校区では、学区の小中学校が協働してグランドデザインをつくり、目指す子供像や指導の柱を共有する等の取組みを行っている。酒田市東部中学校区の小中学校をそれぞれ指定校とすることで、その体制を生かして、子供の発達段階や小中連携を強化した人権教育の取組みが実施されることが期待される。そして、その取組みを、人権教育を柱とした小中一貫教育の好事例として、全県に普及することで、小学校から継続した人権教育の実践が普及し、県内に積み上げていくことで、本県が進める「いのちの教育」の推進や、いじめの問題や不登校などの生徒指導上の課題を解消していく手立ての1つになるものと期待している。

また、東部学区小中一貫教育の取組みでは、縦割りの活動の中で上級生から下級生への関わりや、中学校と小学校の関わり等があること、児童生徒だけでなく保護者や地域を巻き込んだ広域な取組みを想定していることから、「子供の人権」に対する理解と認識が地域全体に広がっていくことが期待される。

さらに、酒田市は本県の日本海側に面した地域であり、国際都市として外国船で来航する外国人観光客にピーアールする取組みを積極的に行っている国際都市であることから「外国人」との交流や理解の深まりも期待できる。

以上の理由から、酒田市立東部中学校を指定校として事業を展開したいと考えた。

○取り組んだ人権課題について

該当するものに○印、最も主要な人権課題 1 つに◎印を付与

①子供	◎
②女性	
③高齢者	
④障害者	
⑤ <u>同和問題</u>	
⑥ <u>アイヌの人々</u>	
⑦ <u>外国人</u>	○
⑧- 1 HIV 感染者等	
⑧- 2 <u>ハンセン病患者等</u>	
⑨刑を終えて出所した人	
⑩犯罪被害者等	
⑪インターネットによる人権侵害	○
⑫北朝鮮当局による拉致問題等	
⑬性的指向、性自認	○
⑭その他（ ）	

3. 調査研究の内容等

○調査研究の内容

①県教育委員会の取組み

〈市教育委員会・指定校への指導、助言及び援助〉

総合的な学習の時間や、キャリア教育などの教育活動全体をとおした豊かな心の醸成について、各教育事務所の指導主事及び教員OBを派遣し、教職員に対して研修を行う。また、指定校の変容を確認し、必要な助言ができるよう、定期的に市教育委員会・指定校を訪問し、継続した指導を充実させる。

②指定校の取組み

- ・テーマにある「多様性」について、「自他共に認めあい、思いやりの気持ちをもつ」と考え、「多様性を尊重する力」を「自分と違う考えや価値観に気づきながら深め合うこと」と考えた。
- ・このことを総合的な学習の時間、キャリア教育などの教育活動全体をとおして、人権についての意識を高めていく。この際、次の3つの柱にそって指導していく。

【一人一人のニーズに応じた指導・支援の充実】

QUテストをベースにした児童生徒理解を授業に活かす

QU研修会の実施

【仲間の良さを見つけ、認め合える力の育成】

道徳科の授業、特別活動

人権講演会（デジタルシティズンシップ）の実施

【地域の教育力や関わりを生かしたキャリア教育・総合の充実】

総合的な学習の時間、キャリア教育

- ・東部学区小中一貫教育合同研修会を中心に、ブロック1（小1～4）、ブロック2（小5～中1）、ブロック3（中2・3）のグループで、人権教育について指導内容を検討し、小中連携を図りながら育てたい資質・能力に向けた取組みを共有する。
- ・外国人と係わる取組みでは、自分と違う立場にある人々を理解する等の体験的な学習を行い、人権感覚の涵養につなげる。
- ・インターネットによる人権侵害に係る取組みでは、デジタルシティズンシップに関する人権講演会の内容を踏まえて、教員が動画教材を作成し、道徳科の授業、各教科でのICT活用場面の指導につなげる。

○実施方法

①県教育委員会の取組み

- ・県教育委員会及び再委託先の町教育委員会が、各研究指定校の研究推進委員会や飯豊町教育研究会に参加することで、児童生徒の実態や成長がとらえられるようになり、

具体的な指導助言や成果の把握に活かし、年度内の PDCA サイクルを機能させる。

②指定校の取り組み

○一人一人のニーズに応じた指導・支援の充実

・一人一人のニーズを把握するため、WEB - QUの活用や全児童との教育相談の実施をとおして、子供の状況を把握し、必要に応じてエンカウンターを実施する等、よりよい指導や支援につなげた。また、QU研修会を行う等、指導者のスキルアップを図り、授業に活かすことができた。

・「お互いの個性の認め合い」を大切にした道徳科の授業を通年で行い、人権感覚の涵養を図ることで、地域との交流活動の際に、相手の人権をより考えて行動できるようになった。

・本校に LGBT の生徒が在籍していたことから、制服を標準服に変えた経緯を踏まえ、本校の制服等について研究している酒田市内の大学と連携し、LGBT やジェンダーフリーについての内容の学習を行い、性的指向、性自認の面から人権意識を高めることができた。

○仲間の良さを見つけ、認め合える力の育成

・運動会や文化祭等の学校行事において、異学年交流をすすめるため、縦割りの活動を行い、仲間の良さを見つけ、認め合える力を育成した。

・道徳の授業で日常生活や行事の経験と関連付けながら、インターネットにおける人権侵害についての学習を行った。さらに、デジタルシチティズンシップについての講演をとおして、人権侵害をしないことにとどまらず、自己の人権や個人情報を守るために、どのように活用すればよいかを考え、その結果を日常の授業での ICT の活用場面につなげた。講演会の内容を踏まえて、校長や教員が動画教材を作成し、継続的に各教科の指導場面で活用した。

○地域の教育力や関わりを生かしたキャリア教育・総合の充実

・生徒会執行部が結成した「熱盛隊（東部を熱く盛り上げ隊）」を中心にして、地域の民間団体（酒田 DMO）と連携したワークショップに生徒が参加し、ひらた産業まつりにむけて実際に地域の魅力や課題を総合的な学習の時間に学習するとともに、子供の人権課題や高齢化に関わる人権問題について体験的に学習できた。

・酒田 DMO と台湾との交流を活かし、台湾の学校とオンラインによる交流を行い、外国人に対する人権意識を高めることができた。その際、地域のことを英語で紹介する等の活動を行い、酒田市を訪れる外国人に向けてもその内容を、発信した。

4. 検証・評価・改善・普及

【検証・評価方法】

①県教育委員会の取組

〈各小中学校、特別支援学校を対象にしたいじめの実態調査〉

・多様性を認めることが、未然防止としての「いじめを生まない風土づくり」、早期発見、早期対応のための「いじめを許さない見逃さない風土づくり」につながっているかについて検証するため、いじめの実態について年3回の調査を行うとともに、継続して指導が必要な事案については追跡調査を行った。また、いじめの起きやすい状況等を分析し、指導や対応に活かすことができた。

・全国学力学習状況調査の質問から人権に関する意識の変化を分析した。

・教育事務所等生徒指導担当者会議において、いじめやネットトラブル等の人権に関する事例を共有し、分析・協議を通していじめやネットトラブル等の未然防止、ネットモラル意識を高めることができた。

〈事業の成果等の発信〉

県内4教育事務所の人権教育担当指導主事を対象に、学識経験者（大学教授等）を招聘した「『いのち』の教育推進協議会」実務者会議を開催し、具体的な取り組みや成果を協議し、県内各地区に周知した。今後は、研究指定校の取り組みや成果についてまとめた資料を県のホームページに掲載し、周知を図る。

②指定校の取組み

・酒田市で実施している年2回の児童生徒向けの調査を活用し、人権意識の変容を見た。「自分によいところがある」、「自分と違う意見について考えることは楽しい」、「人が困っている時は進んで助ける」、「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」等の項目について今後も改善を目指し、人権意識を高める教育活動を継続していく。

・学校評価アンケートでは保護者から見た生徒の変容を、東部学区教職員への評価アンケートからは教職員から見た生徒の変容を確認した。多様性について知識として理解することに止まらず、行動面につながっているか検証を行った。

・アンケートのみならず、普段の地域での生活や地域活動への参加状況などを含めて、地域の中での積極的なかわりを持とうとしているかについて把握し、人権教育の取り組みによって生徒の変容が見られるかを検証した。

・本事業における取り組み及び成果等について、学校だより、ホームページ・ブログへの掲載やメール配信により、保護者や地域住民に周知した。

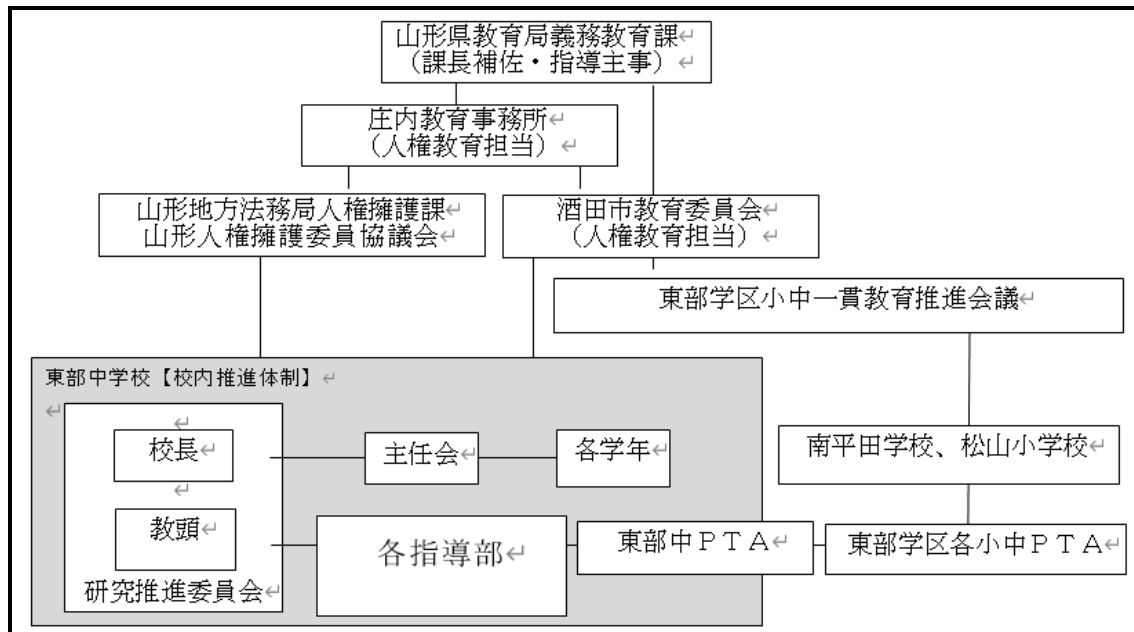
・本調査のテーマの一部である「多様性を理解し尊重する力」については、東部学区小中一貫教育ランドデザインの中で、9年間を通してつけたい3つの力のうちの1つとしてとりあげている。委託期間終了後も、東部学区小中一貫教育推進会議を中心に

各小中学校が連携を図り、「多様性を理解し尊重する力」をつけていく中で、生徒の人権意識を高めていく取組みを継続するとともに、酒田市内の小中学校にも市の研修会等の機会をとらえて取組みを広めていく。

5. 人権教育に係る年間指導計画

	節 目 標		具体的な取り組み
	新学年としての役割と責任を自覚しよう。		・年度始休業
第Ⅰ節 出 発	基本的生活習慣を身に付けよう。		・初発指導 ・あいさつ指導 ・登下校時の交通安全指導 ・SB 乗車指導 ・教育相談、教育相談アンケート ・学級、学年習き ・生徒会ガイダンス ・部活動集会 ・生徒会委員会 ・下校指導
	第1学年	あいさつや礼儀をきちんとしよう。	
	第2学年	生活の決まりを見直し、守ろうとする意識を高めよう。	
	第3学年	生活のきまりを守ろうとする意識と、良識ある言動を高めよう。	
第Ⅱ節 挑 戦	時間のけじめをつけよう。		・生徒会評議員会 ・教育相談 ・Q-U調査 ・生徒総会 ・壮行式 ・地区中総体 ・班会、班長会 ・生徒会評議員会 ・生徒会委員会 ・いじめアンケート ・大運動会
	第1学年	学校生活の時間を守ろう。	
	第2学年	望ましい生活リズムを確立し、時間のけじめをつけよう。	
	第3学年	計画性とゆとりを持って生活しよう。	
第Ⅲ節 創 造	対話を重ね、新たなものを創り出そう。		・教育相談、教育相談アンケート ・地区新人総体 ・夏期休業中の生活指導 ・夏期休業 ・班会、班長会 ・生徒会評議員会 ・生徒会委員会 ・創心祭
	第1学年	仲間と協力し合いながら活動を成功させよう。	
	第2学年	仲間の良さを認め合いながら活動を成功させよう。	
	第3学年	集団の良さを高め合いながら活動を成功させよう。	
第Ⅳ節 継 承	対話を重ね、新たなものを創り出そう。		・班会、班長会 ・生徒会評議員会 ・生徒会委員会 ・IT講話 ・選挙管理委員会発足 ・リーダー引継ぎ会 ・Q-U調査② ・生徒会選挙告示 ・立会演説会 ・選挙 ・新執行部体制確立 ・役員任命式
	第1学年	お互いの良さを認め合い、仲良く生活しよう。	
	第2学年	伝統を引き継ぎ、発展させよう。	
	第3学年	より良い伝統を残していこう。	
第Ⅴ節 発 展	礼儀を重んじ、けじめのある生活をしよう。		・班会、班長会 ・生徒会評議員会 ・生徒会委員会 ・生徒総会 ・卒業式前の生活指導、礼儀指導 ・卒業式 ・年度末休業中の生活指導
	第1学年	礼儀を重んじ、節度のある生活をしよう。	
	第2学年	心からの礼を尽くし、自己を見つめよう。	
	第3学年	礼儀を重んじ、最高学年としての生活を見つめよう。	

6. 推進体制（都道府県・指定都市教育委員会を含む）



○関連資料

デジタル・シティズンシップ教育指導案

1. 日時 令和 5 年 11 月 14 日 第 1,2 時限
2. 場所 教室
3. 学年 中学 1 年～中学 3 年を想定
4. 単元名 学級活動「自分のプライバシーをどのように守りますか」
5. 単元（本時）の目標

ネット上で自分のプライバシーを守るにはどうしたらいいのか、プライバシーの概念について考え、広告主がユーザーの情報を収集するさまざまな方法を分析し、自分のプライバシーを守るための戦略を明らかにすることができるようにする。

 - ・ プライバシーとは何かを考え、どのように共有されることがあるのかを考える。
 - ・ プライバシーに関する言葉の定義を知る。
 - ・ 企業による個人のデータ収集に対し、自分ができる作戦を考える。
6. 指導計画（全 1 時間）
 - ・ 自分のプライバシーをどのように守りますか ……本時

7. 本時の展開

時間	児童の活動	指導上の留意点
導入 (5)	1 プライバシーと個人情報との違いを確認する。	○ プライバシーと個人情報の定義を全体で共有する。 プライバシーとは「自分や家族のこと、自分の生活のこと、自分だけの秘密のこと、また、そのようなことを他人から干渉されたり侵害されたりしない権利のこと」 個人情報とは「自分のことを特定できる情報のこと」
展開 (35)	2-1 ケンタさんのお話を読んで、企業による個人データの収集について知り、それに対して自分ができる対応策を考える。	＜ケンタさんのお話＞ ケンタさんは街でおしゃれな黒い靴を履いている人を見て、同じ靴が欲しいと思い、オンラインストアで靴のことを調べました。その靴は少し高かったので、友人に相談しようと思い、Instagram にその靴の写真を投稿しました。 その後、ケンタさんが他のウェブサイトを開くと、靴の広告が表示されるようになりました。 なぜ、その靴の広告が出てくるようになったのだろうと、ケンタさんは不思議に思いました。
(7)	(1) なぜケンタさんがその靴を欲しがって	○ ＜ケンタさんのお話＞をもとに、企業による個人データの収集の存在に気づくようにする。

(13)	<p>ることを知ったのか、靴の広告がよく出てくるようになった理由を考える。</p> <p>(2) 企業による個人のデータ収集に対し、自分ができる作戦を考え、共有する。</p>	<p>○ SNS やサイトを見ていると、自分の閲覧したものに 関連する企業の CM や商品のサイトが出てくるようになることがある。閲覧するだけでもこれらの情報が共有されることに気づかせたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オンラインストアは、彼が何を検索したかを記録したのかもしれない。 ・ SNS などのアプリは、彼が投稿した内容を記録したのかもしれない。 ・ その情報を、ウェブサイトの広告主と共有したのかもしれない。 <p>○ 「ケンタさんが、広告会社に自分のオンラインでの行動や検索履歴などを記録、保存されるのを望んでいない場合、何か対応策はあったと思うか」と問いかけ、企業による個人のデータ収集に対し、自分ができる作戦を考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オンラインストアに行く前に、ウェブサイトで何をしたかを保存する機能を無効にする。 ・ SNS などアプリのプライバシーポリシーを確認し、自分が投稿した情報が集められ共有されるかどうかを確認する。 ・ アプリのプライバシー管理の設定を変更する。 <p>○ グループごとに、互いに考えたプランを共有し、意見交換する。</p> <p>○ 友だちの意見を参考にして、考えたプランを見つめ直すようにする。</p>
(8)	<p>2-2 自身のオンラインでの情報の取り扱い方を振り返った上でプライバシーを守るために必要な知識を得る。</p> <p>(1) 自身のオンラインでの情報の取扱い方を振り返る。</p>	<p>○ 自分のオンラインでの情報の取扱い方を振り返り、危機意識の薄さに気づくようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フォロー、リツイートで商品プレゼントなどのオンラインキャンペーンに応募したことがある。 ・ アプリや Web サイトに登録する時、Instagram などの SNS のアカウントを使って登録したことがある。 ・ アプリのインストール時に位置情報やアドレス、連絡先へのアクセスを許可したことがある。 ・ 「あなたのアカウントは不正利用の可能性があります」などのメッセージを受け取ったことがある。 ・ SNS のプライバシー初期設定を見直していない。

(7)	(2) プライバシーを守るために必要な知識を得る。	<p>○ 4つのプライバシーを守るために必要な語句とその意味を考え、確認する。</p> <p>プライバシーポリシー 「事業者が個人情報も含めたプライバシーに関する情報の取扱方針を定めた文書のこと。アプリやウェブサイトが提供しなければならない法的文書で、どのようなユーザー情報を収集し、それをどのように使用するかを記したもの」</p> <p>利用規約 「アプリやウェブサイトの事業者とその利用者が、アプリやウェブサイトを利用する時に守らなければならないルールについて書かれた文書」</p> <p>プライバシー管理設定 「ウェブサイトやアプリが、どの情報が集められ、他の人に見えるかについて、利用者が選択できる設定」</p> <p>クッキーCookie 「あなたが見ているウェブサイトからあなたのスマホやパソコンに保存される情報のことで、利用者がウェブサイトですることを記録する機能」</p>
まとめ 10 分	4 学習のまとめをする。	<p>○ 企業がさまざまなデータを利用することで個人情報が盗まれる危険性も高くなることを伝え、自身の情報(企業が集める自分の行動情報)を制限したい場合には、オンラインでの自分の行動が重要であることをふまえる。</p> <p>○ 自分の個人情報や行動データを企業が集めることに対して、自分ができる作戦を整理することでまとめる。</p> <p>○ 共有してもよい情報とそうでない情報があることを意識できるよう声かけをする。</p> <p>○ 共有すること、情報を提供することが全て悪いわけではないことをふまえる。ウェブサイトが使いやすくなったり、アプリの更新に役立つなど、利点と重要性も考</p>

インターネットで行動するときの3つのステップ	<p>慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ペアで考えた作戦を話し合い、友達の見解を参考にし、自信で考えたプランを見つめ直し、自信をもって実行していききたい点や変更したい点について、理由も含めて書くようにする。 ○ 考えた作戦について、2～3名ほど当て発表させる。 ○ インターネットで行動するときの3つのステップ、インターネットで行動するときは「立ち止まる」「(どうすればいいか) 考える」「(困ったときは) 相談する」
------------------------	---

DC ワークシート —自分のプライバシーをどのように守りますか—

() 年 () 組 氏名 ()

① なぜケンタさんがその靴を欲しがっていることを知ったのだと思いますか。

② ケンタさんが、行動や情報などを記録、保存されるのを望んでいない場合、何か方法があったと思いますか。

③ どの言葉を説明しているか考え、() に番号を書きましょう。

1. アプリやウェブサイトの事業者とその利用者が、アプリやウェブサイトを利用する時に守らなければならないルールについて書かれたもの。
2. アプリやウェブサイトが提供しなければならない法的文書で、どのような利用者の情報を集め、どのように利用するかを記したもの。
3. ウェブサイトやアプリで、どの情報が集められ他の人に見えるかについて、利用者が選択できる。
4. 見ているウェブサイトからあなたのスマホやパソコンに保存される情報のことで、利用者がウェブサイトで何をしたかを記録する。

プライバシー 設定	クッキー Cookie	プライバシー ポリシー	利用 規約
()	()	()	()

④ 自分のデータ収集を制限するかしないか、自分で選択できるようになるための作戦を整理し、学んだことをまとめましょう。

DC ワークシート —自分のプライバシーをどのように守りますか—

() 年 () 組 氏名 ()

① なぜケンタさんがその靴を欲しがっていることを知ったのだと思いますか。

オンラインストアが何を検索したかを記録したのかもしれない。

SNS などのアプリが投稿した内容を利用したのかもしれない。

その情報を、ウェブサイトの広告主と共有したのかもしれない。

② ケンタさんが、行動や情報などを記録、保存されるのを望んでいない場合、何か方法があったと思いますか。

オンラインストアに行く前にサイトで何をしたか保存する機能を無効にする

SNS などアプリの規約を確認し、自分が投稿した情報が集められ、

共有されるかどうかを確認する。

アプリのプライバシーの設定を変更する。

③ どの言葉を説明しているか考え、() に番号を書きましょう。

1. アプリやウェブサイトの事業者とその利用者が、アプリやウェブサイトを利用する時に守らなければならないルールについて書かれたもの。

2. アプリやウェブサイトが提供しなければならない法的文書で、どのような利用者の情報を集め、どのように利用するかを記したもの。

3. ウェブサイトやアプリで、どの情報が集められ他の人に見えるかについて、利用者が選択できる。

4. 見ているウェブサイトからあなたのスマホやパソコンに保存される情報のことで、利用者がウェブサイトで何をしたかを記録する。

プライバシー 設定	クッキー Cookie	プライバシー ポリシー	利用 規約
(3)	(4)	(2)	(1)

④ 自分のデータ収集を制限するかしないか、自分で選択できるようになるための作戦を整理し、学んだことをまとめましょう。
